# オープンファクトリー支援事業

# 概要

令和8年6月

和歌山県企業振興課

# わかやまオープンファクトリーとは…

- 企業が成長するための『手段』として、オープンファクトリーを実施。
- 工場見学や体験等を通じて、ブランドの形成による**付加価値の向上**や従業員と来場者の触れ合いによる**人材育成・確保**、新しい取組を行おうとする視座の高い**経営者間の良質な交流**等、成長のための機会を創出。
- 大学との共同研究やノウハウの教示に加え、**開催時期の設定**により、エリア間の回遊性を高め、集客を促進し、**『わかやまオープンファクトリー』のブランドを構築**。

**事業者＝個々の成長を重視**

## 経営の課題

◆ 経営に行う上での様々な影響

- 原油価格の高騰
- 物価の高騰

→ コスト増加

- 人口減少

→ 人材不足

## オープンファクトリーの実施

◆ 県内の事業者に成長の契機を提供

- 精巧な技術の発信
- 品質価値の訴求

→ 付加価値向上

- 企業認知度の向上による人材の確保
- 従業員の育成の機会の創出
- 経営者間の良質な交流

→ 組織基盤の確立

## 目指す姿

◆ 成長のエコシステムを創出

① オープンファクトリーに参加

② 付加価値向上・組織基盤の確立

③ 企業成長

④ 県経済の活性化

**県＝地域の成長を支援**

### 和歌山大学との共同研究

- **和歌山大学の観光学部と共同研究を実施予定。**
- 学生に採択者の工場等を見学してもらうことで**採択者の魅力を共有**。

### ノウハウの教示

- ワークショップ等を通して、ＳＮＳでの広報やコンセプト設計等、**オープンファクトリーを実施するうえで必要となるノウハウを教示**。
- 立ち上げた団体の**悩み等を相談する機会を提供**。

### 開催時期を10~11月に指定

- 他県でも開催が多い**秋**に実施。
- 県でも広報を実施し、**集客力の向上**を後押し。
- 採択者の実施内容及び開催場所を広報するチラシを作成予定。
- 目的の企業以外も**来訪してもらえる機会を創出**。

# １．事業の流れ（予定）

プレキックオフイベント → 補助金採択 → キックオフイベント → 準備期間 → オープンファクトリー → 成果報告会

## プレキックオフイベント

**令和８年２月９日開催**

◆ **目的**

- 事業者が**オープンファクトリーを行う意義を考え、行うことへの士気を醸成**。
- 事業が始まる前にイベントを行うことで、オープンファクトリーはあくまでも**企業が成長するための「手段」であり、目指すべき場所は「各企業の成長」で**あることを明確とする。

◆ **実施内容**

- 近畿経済産業局主催のイベントにて、**「個社の成長」**に焦点をあて、**オープンファクトリーを手段として成長する県外の経営者**が講演を実施。
- 人的資本経営にて成長する県内の経営者との県外経営者のトークセッションを実施。

## 補助金採択

**令和８年６～７月（予定）**

◆ **目的**

- **インナーブランディング**の強化や**付加価値の向上による企業成長**。

◆ **実施内容**

- **企業成長を目的とし、オープンファクトリーを新たに行う企業を支援**。
- 実施に関して**必要な経費を補助**。

※1年目：
＜団体＞1者あたり40万円
（１団体上限200万円）
＜単独＞30万円

- オープンファクトリーを行う上で**必要なノウハウ等の支援を受けることができる事業者の選定**。

## キックオフイベント

**令和８年７月開催**

◆ **目的**

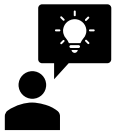
- 和歌山県内で**オープンファクトリーを行う上での機運醸成**。
- オープンファクトリーを開催する**モチベーションの向上**。

◆ **実施内容**

- 補助金採択者を集めてキックオフイベントを開催。
- **「オープンファクトリーの運営」**に焦点をあて、県外のオープンファクトリーを運営する方の講演を実施。
- **オープンファクトリーが各社の成長の「きっかけ」となるということを改めて認識できる**ワークショップを実施。

## 準備期間

**令和８年６月～開催日**



◆ **目的**

- 県内の学生が就職する際、**オープンファクトリーに参加している企業が選択肢となる可能性を創出**。
- **他業種の良質な経営者ネットワークを構築**。
- **インナーブランディング**の強化。

◆ **実施内容**

- 採択者に対し、オープンファクトリーの開催にあたり、**必要となるノウハウ**（集客方法やコンセプトの設計等）**をワークショップにて提供。**
- 和歌山大学との共同研究の一環として、**学生が採択者の生産現場を見学**。

## オープンファクトリー

**令和８年１０～１１月に開催**

◆ **目的**

- 県内の学生が就職する際、**オープンファクトリーに参加している企業が選択肢となる可能性を創出**。
- **他業種の良質な経営者ネットワークを構築**。
- **インナーブランディング**の強化。

◆ **実施内容**

- 実施に関して**必要な経費を補助**。
- 採択者に対し、オープンファクトリーの開催にあたり、**必要となるノウハウ**（集客方法やコンセプトの設計等）**をワークショップにて提供。**
- 和歌山大学との共同研究により、**学生に参加企業の魅力を共有**。

## 成果報告会

**令和９年１月開催**

◆ **目的**

- **自分たちの考えを言語化**する機会を提供するとともに、企業の成長を社員とともに考えることで、**社員育成の機会も創出**。
- オープンファクトリーを自走させる意欲を醸成。

◆ **実施内容**

- 場所は採択者にて各自で設定し、社員や地域の方々、行政等のステークホルダーが参加可能な形でそれぞれが開催。
- オープンファクトリーについての報告と**各企業がオープンファクトリーを経て、どのような変化があったかを発表**。

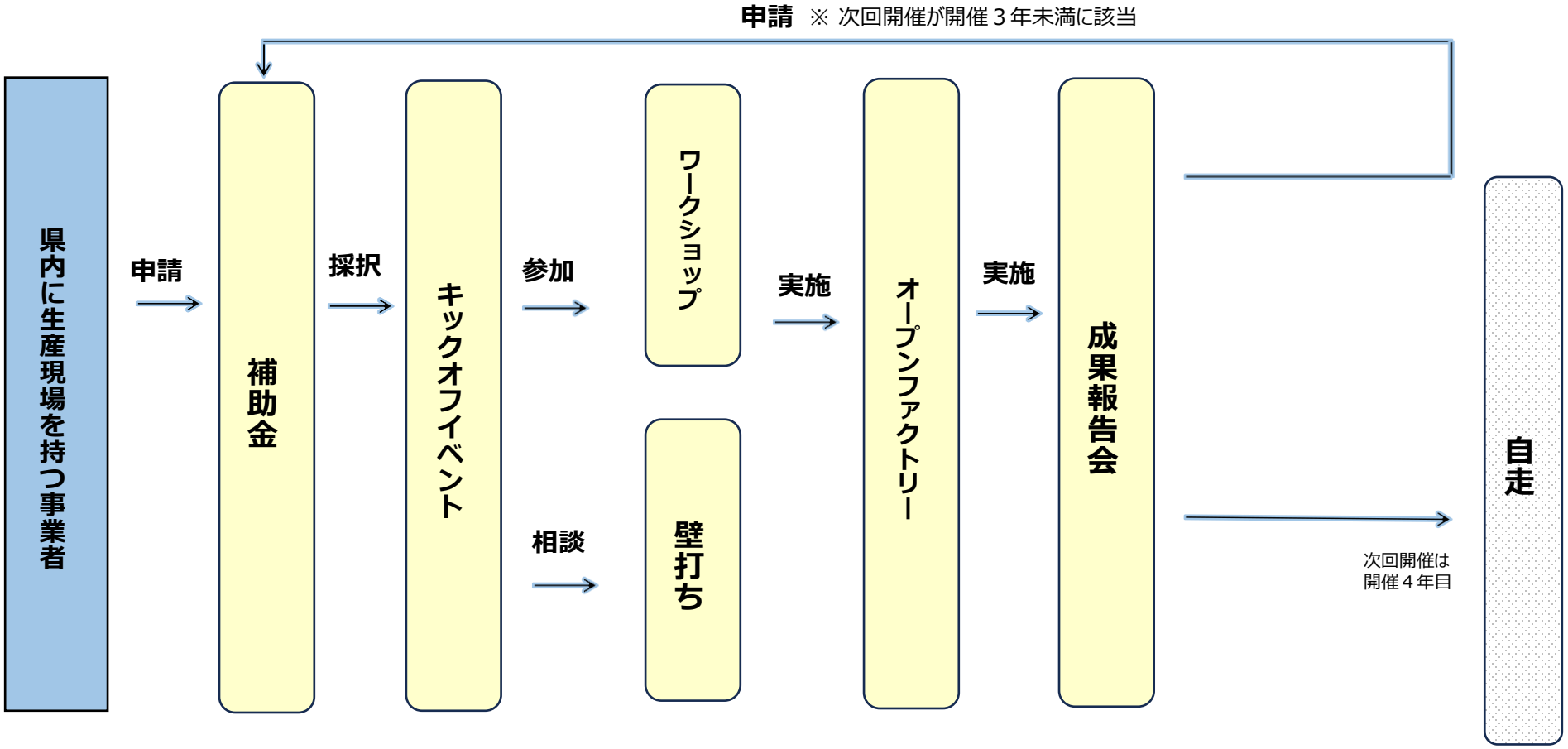
人的資源経営…　人材を「資本」として捉え、その価値を最大限に引き出すことで、中長期的な企業価値向上につなげる経営のあり方。

出典：経済産業省HP

## ２．具体的な支援内容について

- オープンファクトリーを行う上で必要となる**資金とノウハウの両面を支援することが重要**であるため、本事業の採択者には、**補助金だけでなく、**オープンファクトリーのノウハウを学ぶ**ワークショップや県外の先輩に壁打ちを行う機会を提供**。

- **支援スキーム**



# 3．補助金概要

| | |
|---|---|
| **対象者** | ● 下記を**すべて**満たす者。<br>• 県内に生産現場を有しており、その生産現場に関するオープンファクトリーを新たに開催しようとする者であること。<br>• 団体（三者以上の連携）または単独でオープンファクトリーを行おうとする者であること。<br>• オープンファクトリーを県内において開催しようとする者であること。<br>• 事業者自らの成長を目的として開催しようとする者であること。<br>• 県が指定する期間（R8.10～11月）に開催されるオープンファクトリーを行おうとするもの |
| **補助額** | ● 1年目　団体：1者あたり上限40万円（1団体上限200万円）<br>単独：上限30万円<br>● ２～3年目　団体：1者あたり上限20万円（1団体上限100万円）<br>単独：上限15万円<br>※団体の場合は補助金申請の際に設定された代表者に交付します。 |
| **補助対象経費** | ● **会場費**：補助事業遂行のために必要な会場の使用や会場付帯設備等の使用に要する経費<br>例）会場使用料、会場付帯設備使用料<br>● **借損料**：補助事業遂行のために必要な機器のレンタル、バスやタクシーの借り上げ等に要する経費<br>例）音響機器レンタル料、バス借上げ費、タクシー借上費等<br>● **広告宣伝費**：新聞・雑誌・デジタル媒体等への掲載等、補助事業の広告・宣伝に要する経費<br>例）新聞・雑誌・デジタル媒体等への掲載に要する経費<br>● **委託費**：補助事業遂行のために必要な制作物の作成や業務の一部を外注する場合に要する経費<br>例）会場設営等委託費、デザイン委託費等 |
| **条件** | ● 下記内容を満たす成果報告会を行うこと。<br>• オープンファクトリーを行ってどうであったかの振り返り<br>• 参加企業との意見交換<br>• 参加企業への経費の公開　等 |

# ４．ノウハウ等の支援について

**ワークショップ**　オープンファクトリーを実施する上で必要となるノウハウ等を提供。

**壁打ち**　オープンファクトリーの準備をするうえで発生した疑問や迷いを県外の有識者に相談する機会を提供。

## ワークショップ

### ①　全4回以上のワークショップを実施

- 採択事業者対象のワークショップを実施し、**他団体の事業者とも交流しながら学ぶ**。

### ②　ノウハウ等の教示

- オープンファクトリーに必要なノウハウを教示。
- そのノウハウは**今後、事業を行う上でも活用可能なものを想定**。

## 壁打ち

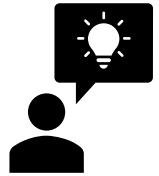
### ①　疑問や迷いの発生

- どのようにオープンファクトリーを進めるべきなのか等、**オープンファクトリーを開催するうえでの悩みが発生**すると想定。

### ②　メンターにオンラインで相談

- 有識者に相談できる機会を提供。
- **客観的な意見や今までに経験を教授**。

### ③　方向性の発見



- メンターと話すことで、**これからの方向性を決定することを後押し**。
- オープンファクトリーを成功させるうえで必要な**ノウハウやマインドを形成することにつなげる**。

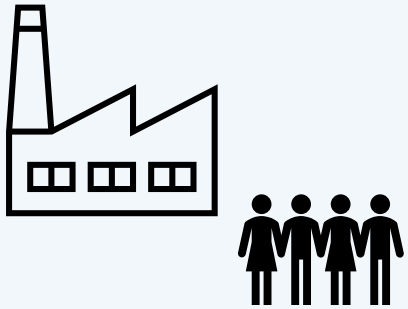
## ５．和歌山大学との共同研究について

- R8年度、**和歌山大学と共同研究を実施予定**。
- 共同研究の一環として、本事業がどのようなものなのかを学生がイメージするために**R8年度採択者の企業の中から数社に工場見学を予定**。
- 学生が県内企業への理解を深め、**県内就職に繋がることに期待**。

### STEP①

- **学生がオープンファクトリーや本事業について基礎知識を学ぶ。**

### STEP②



- **学生が採択者の生産現場を見学。**
- **採択者から事業内容について学ぶ。**

### STEP③

- **学生が採択者を認知。**
- **他の学生への共有や自身の就職先の候補となる。**